

第3期秦野市スポーツ推進計画 【概要版】

計画策定の背景・趣旨

国

- ・スポーツ庁の創設（平成27(2015)年10月）
- ・第3期スポーツ基本計画の策定（令和4(2022)年3月）
- ・スポーツ基本法の全部改正（令和7(2025)年9月施行）

県

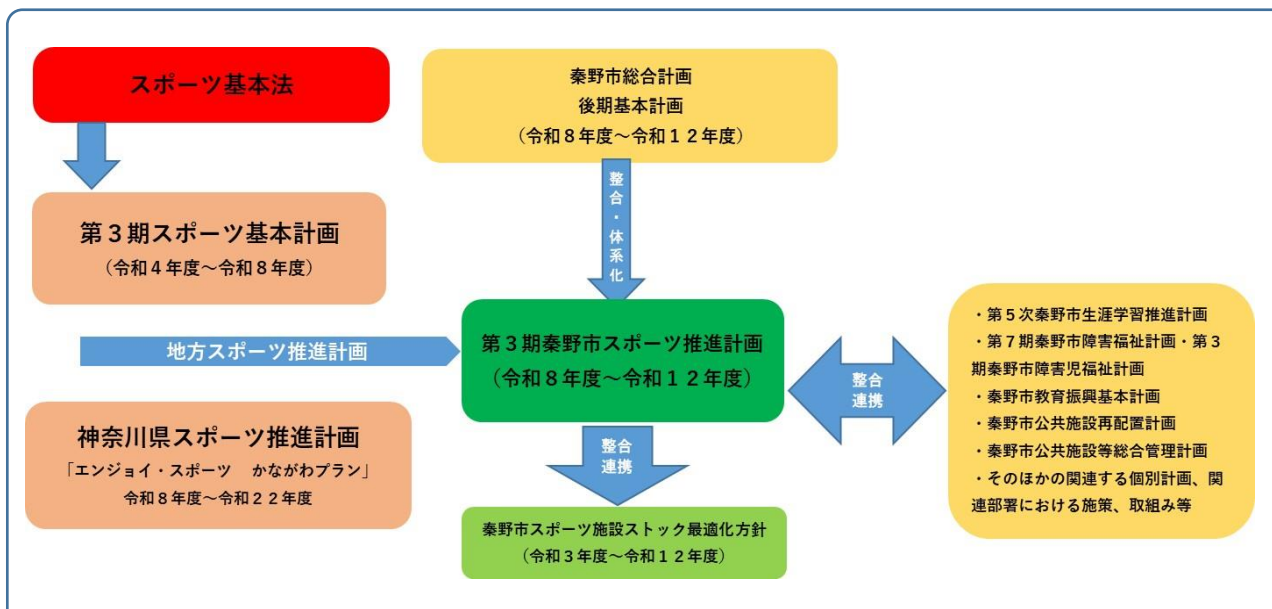
- ・スポーツ局の設置（平成28(2016)年4月）
- ・神奈川県スポーツ推進条例の制定（平成29(2017)年3月）
- ・第2期神奈川県スポーツ推進計画の策定（令和8(2026)年3月）

市

- ・第2期秦野市スポーツ推進計画の計画期間終了（令和8(2026)年3月）
- ・神奈川県内で初となる「女子野球タウン」に認定されるとともに、スポーツ拠点の一つとして「はだのスポーツビレッジ（仮称）」の供用開始に向けた取組を進行中。

国・県・市の状況を踏まえて本計画を策定

計画の位置付け



計画期間

令和8(2026)年度から令和12(2030)年度までの5年間

※計画の進捗状況や市民ニーズに反映される新たな課題、社会情勢の変化等に対応するため、必要に応じて見直しを行います。

計画におけるスポーツの定義

本計画では、「スポーツ」を幅広く捉え、記録や勝敗を競い合う「競技スポーツ」だけではなく、健康づくり及び介護予防を目的としたウォーキングやフィットネス、ヨガ等の軽い運動や、楽しみながら体を動かすスポーツ・レクリエーションを含むものとします。

また、スポーツへの関わり方として、自ら身体を動かすスポーツを「する」こと、競技の観戦等のスポーツを「みる」こと、指導者やボランティア等のスポーツを「ささえる」こと、それぞれをスポーツ活動として捉えるとともに、スポーツに関して「あつまる」こと、スポーツを通じて「つながる」ことにより、生涯にわたりスポーツを楽しめる環境づくりを推進します。

スポーツ推進に向けた課題等

【秦野市スポーツ施策基礎調査の分析結果（まとめ）】

◆8割超の回答者がスポーツを「好き」、又は「まあ好き」と回答しており、スポーツに対する潜在的な需要は高い。

◆「ビジネスパーソン」、「子育て世代」、特に20歳代から30歳代のスポーツの実施率が低いことから、これらの年代がスポーツに親しめる環境づくりが必要。

◆「仕事や家事の都合」で時間的な余裕がなく、スポーツをしたくてもできない人が多いことから、一人で気軽にスポーツに親しむことができる環境づくりや施策展開が必要。

◆東京2020大会の開催を契機の一つとして、パラスポーツに対する理解は広がりを見せているが、実際にパラスポーツを行う機会が少ないことから体験等ができる環境づくりが必要。

◆障害等の有無や性別等を問わず、誰もがスポーツに親しみ、あつまり、つながることで、相互理解を深め、スポーツを通じた共生社会の実現に向けた取組みが必要。

課題等を踏まえた施策の方向性

- 1 誰でもスポーツに親しむことができる環境の充実
- 2 年齢や性別等を問わないスポーツを通じた共生社会の実現
- 3 地域資源を有効活用したスポーツ環境づくり
- 4 施策展開の手段を強化

基本理念

基本理念については、普遍的なものとして、前計画の基本理念である「ライフステージ・志向に応じて『はつらつと・だれもが・のびのびと』スポーツに親しみ・楽しむ秦野（まち）」を継承し、子どもから成人、高齢者まで、また、障害者などを含めた、あらゆる人々が、それぞれの生活環境に合わせて、生き生きとゆったりとした気持ちでスポーツに親しみ・楽しむことができる環境づくりに引き続き取組みます。

ライフステージ・志向に応じて

『はつらつと
だれもが
のびのびと』

スポーツに親しみ・楽しむ秦野^{まち}

基本目標

スポーツ推進に向けた課題等を踏まえ、次の3つの基本目標を掲げ、基本理念の実現に向けた具体的な取組みを実行します。

【関連性の強いSDGsの目標】

基本目標1 ▶ スポーツでいつでも気軽に健康づくり



基本目標2 ▶ スポーツで絆を感じる地域づくり



基本目標3 ▶ 持続可能なスポーツ環境づくり



※本計画に基づく各施策は、スポーツの力を活用した「スポーツSDGs」に貢献するものとして、基本目標に関連性の強い目標を示しています。

重点指標

計画の進行過程において、基本目標ごとに具体的な取組みに対する達成状況が確認できる重点指標を設定しています。

基本目標1 ▶ 「スポーツでいつでも気軽に健康づくり」における重点指標

■週1回30分以上、スポーツ・レクリエーション活動をする市民の割合

現状値 (R6年度)	中間値 (R10年度)	目標値 (R12年度)
64.6%	73.0%	78.0%

基本目標2 ▶ 「スポーツで絆を感じる地域づくり」における重点指標

■はだの丹沢クライミングパークへの来場者数

現状値 (R6年度)	中間値 (R10年度)	目標値 (R12年度)
26,991人	28,000人	30,000人

■女子野球タウンとしての認知度

現状値 (R6年度)	中間値 (R10年度)	目標値 (R12年度)
26.5%	40.0%	50.0%

■スポーツ環境に対する満足度

現状値 (R6年度)	中間値 (R10年度)	目標値 (R12年度)
65.0%	70.0%	75.0%

基本目標3 ▶ 「持続可能なスポーツ環境づくり」における重点指標

■スポーツボランティアの登録者数

現状値 (R6年度)	中間値 (R10年度)	目標値 (R12年度)
29人	50人	70人

施策の展開

基本目標 1 スポーツでいつでも気軽に健康づくり

《施策の方向性》

子どもから成人、高齢者まで、年齢や性別、障害の有無等に関わらず、それぞれのライフステージや志向に応じて、いつでも、どこでも、のびのびとスポーツに親しめる機会の充実を図ります。



【基本施策】1 健康増進・運動習慣きっかけづくりの充実

具体施策	主な取組み
1 成人のスポーツ機会の充実	■ 3033（サンマルサンサン）運動の推進
	■ 体操会の実施
	■ 障害者スポーツ教室の開催
	■ 気軽にできるスポーツメニューの普及
	■ いつでもどこでもできるウォーキング事業の実施
2 こどもの遊び・スポーツ機会の充実	■ こどもスポーツ教室の開催
	■ スポーツ団体による大会等の開催
	■ 部活のミライ・グローブプロジェクト（仮称）の推進
	■ 部活動顧問代理者事業
	■ 中学校部活動指導協力者派遣事業
	■ 障害者スポーツ教室の開催【再掲】
3 高齢者等のスポーツ・レクリエーション機会の充実	■ 高齢者スポーツ教室の開催
	■ 3033（サンマルサンサン）運動の推進【再掲】
	■ 障害者スポーツ教室の開催【再掲】
4 子育て世代や女性のスポーツ機会の充実	■ はだの丹沢水無川（みなせ）マラソン大会の開催
	■ 女子野球の普及推進
	■ ホームタウンチーム等との連携による取組の推進

【基本施策】2 スポーツ・レクリエーション活動の充実

具体施策	主な取組み
1 特色あるスポーツ・レクリエーションイベントの提供	■ 市民体育祭の開催
	■ 表丹沢を活用したスポーツの普及促進
	■ ふれあいスポーツデーの開催
	■ 健康ウォーキングポイント事業の実施
	■ はだのパラスポーツフェスティバルの開催
	■ 全国女子中学生硬式野球選手権大会の開催
	■ スポーツクライミングはだの丹沢カップの開催
	■ はだの丹沢水無川（みなせ）マラソン大会の開催【再掲】
	■ いつでもどこでもできるウォーキング事業の実施【再掲】
2 競技スポーツイベントの開催	■ 競技スポーツ団体による大会等の開催支援
	■ 秦野市駅伝競走大会の開催
	■ 市町村対抗「かながわ駅伝」競走大会への参加
	■ はだの丹沢水無川（みなせ）マラソン大会の開催【再掲】
	■ 全国女子中学生硬式野球選手権大会の開催【再掲】
	■ スポーツクライミングはだの丹沢カップの開催【再掲】

【基本施策】3 デジタル技術を活用したスポーツ施策の展開

具 体 施 策	主 な 取 組 み
1 WEB ページ、SNS 等の活用による情報交流	■ デジタル技術を活用した効果的なスポーツ施策等の展開
	■ 気軽にできるスポーツメニューの普及【再掲】
2 インターネット環境を活用した事業の推進	■ 学校体育施設開放事業の推進
	■ いつでもどこでもできるウォーキング事業の実施【再掲】

【基本施策】4 観戦スポーツ等の機会の提供

具 体 施 策	主 な 取 組 み
1 トップスポーツ大会の誘致等	■ かながわアスリートネットワークの活用
	■ ホームタウンチーム等との連携による取組の推進【再掲】

基本目標2 スポーツで絆を感じる地域づくり

《施策の方向性》

表丹沢や渋沢丘陵など、スポーツの拠点となる地域資源を活用した取組みを推進するとともに、様々な立場や背景、適正を有した方々と連携することにより、相互理解を深め、共生社会の実現を通じて誰もが生き生きとスポーツを楽しめるまちの実現を図ります。



【基本施策】1 スポーツを通じた地域の魅力向上

具 体 施 策	主 な 取 組 み
1 地域資源を活用したスポーツの普及推進	■ クライミングの普及促進
	■ 渋沢丘陵を活用したスポーツの普及推進
	■ 表丹沢を活用したスポーツの普及促進【再掲】
	■ はだの丹沢水無川（みなせ）マラソン大会の開催【再掲】
	■ デジタル技術を活用した効果的なスポーツ施策等の展開【再掲】
	■ スポーツクライミングはだの丹沢カップの開催【再掲】

【基本施策】2 スポーツを通じた共生社会の実現

具 体 施 策	主 な 取 組 み
1 性別や障害等に関わらないスポーツの推進	■ 全国大会等のスポーツ大会への出場支援
	■ 愛知・名古屋 2026 アジア・アジアパラ競技大会の機運醸成
	■ 障害者スポーツ教室の開催【再掲】
	■ はだの丹沢水無川（みなせ）マラソン大会の開催【再掲】
	■ 女子野球の普及推進【再掲】
	■ 全国女子中学生硬式野球選手権大会の開催【再掲】
	■ はだのパラスポーツフェスティバルの開催【再掲】

【基本施策】3 スポーツ愛好心の醸成

具 体 施 策	主 な 取 組 み
1 特色ある基金の充実	■ スポーツ関連基金の充実
2 スポーツに関するアンケートの実施	■ 意識調査・満足度調査の実施

基本目標3

持続可能なスポーツ環境づくり



《施策の方向性》

近隣市町村との相互利用を含めた既存スポーツ施設の有効活用や、スポーツ施設等の計画的な整備・充実に加え、スポーツ関係団体への支援、スポーツボランティア及び指導者の確保、育成等を通じて、持続可能なスポーツ環境の充実を図ります。

【基本施策】1 スポーツ関係団体等の育成・支援

具体施策	主な取組み
1 (公財)秦野市スポーツ協会への支援	■(公財)秦野市スポーツ協会への支援
2 トップアスリートによる指導の充実	■トップアスリートとのスポーツ交流の推進 ■かながわアスリートネットワークの活用【再掲】
3 総合型地域スポーツクラブへの支援	■総合型地域スポーツクラブへの支援
4 スポーツボランティアの育成・確保	■スポーツボランティア登録講習会の開催
5 大学等との連携強化	■東海大学との提携
	■上智大学との提携

【基本施策】2 トップアスリート、指導者等の確保と活用

具体施策	主な取組み
1 トップアスリートの育成・支援	■スポーツ活動に対する顕彰 ■全国大会等のスポーツ大会への出場支援【再掲】
2 指導者等の確保・活用	■スポーツ推進委員の活動の充実と資質向上
	■スポーツ医・科学講習会の実施
	■部活のミライ・グローブプロジェクト（仮称）の推進【再掲】
	■部活動顧問代理者事業【再掲】
	■中学校部活動指導協力者派遣事業【再掲】

【基本施策】3 安全・安心にスポーツができる環境の充実

具体施策	主な取組み
1 計画的な施設の保全・整備とストック最適化	■公共施設マネジメントの視点を踏まえた検討
	■スポーツ広場等の屋外施設の活用について
	■スポーツ振興くじの活用
2 近隣市町等と連携したスポーツ施設の有効活用	■協定市町によるスポーツ施設相互利用率の向上
	■民間スポーツ事業者との連携
	■県や近隣市町等と連携したスポーツツーリズムの検討
	■学校体育施設開放事業の推進【再掲】
	■上智大学との提携【再掲】

計画の推進体制

計画の進捗状況や指標の達成状況を定期的に「秦野市スポーツ推進審議会」に報告し、必要な助言、提言を受けながら、適切な進行管理を図ります。

関係機関との協働・連携

計画の実施については、関係各課、スポーツ関係団体等と緊密な連携を図り、事業を実施します。

第3期秦野市スポーツ推進計画 【概要版】

発行：令和8年4月

秦野市文化スポーツ部スポーツ推進課

秦野市平沢148（秦野市カルチャーパーク管理事務所内）

TEL：0463（84）2795

FAX：0463（73）6461

E-mail：sports@city.hadano.kanagawa.jp